



生成A I

ゴールデンウィークが終わりました。この連休中はどのように過ごされたでしょうか？

この“ゴールデンウィーク”の語源を生成A Iで調べてみました。

ゴールデンウィーク（GW）という言葉、実は歴史や伝統に基づいたものではなく、映画業界による造語なんです。

その由来を簡潔にまとめると、以下のようになります。

1. きっかけは「映画のヒット」

1951年（昭和26年）：現在のゴールデンウィークにあたる連休期間に、映画『自由学校』が公開されました。この映画が、正月や盆興行を上回るほどの空前の大ヒットを記録しました。

これに喜んだ当時の大映（映画会社）の常務・松山英夫氏らが、より多くの人に映画館へ足を運んでもらおうと、宣伝用語として作成したのが始まりです。

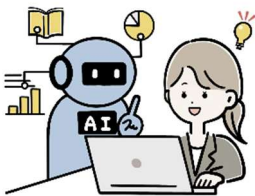
2. なぜ「ゴールデン」なのか？

当時、ラジオ番組で聴取率が高い時間帯を「ゴールデンタイム」と呼んでいました。これに倣い、「最も売上の上がる素晴らしい1週間」という意味を込めて「ゴールデンウィーク」と名付けられました。

生成A Iの Gemini による

生成A Iにたずねると、このように詳しく教えてもらえます。

昨今、生徒がこの生成A Iを使うことについて、議論がなされています。「すぐに答えを得られるのは、生徒の考える力が身に付かない」「本当に正しい答えを得ているのか疑問である」などの意見を目にする場合があります。



しかし、識者の中には、「あと10年もすれば、生成A Iを日常的に使うことになる」と言う人もいます。

つまり、今の生徒たちが社会に出る頃には、生成A Iを使うことが当たり前の世の中になっているのです。

今の学校教育の流れでは、生徒には「生成A Iに使われるのではなく、生成A Iを使いこなす力」が求められています。

本校でも、生徒には授業や諸活動などの様々な場面で生成A Iを使い、成功したり失敗したりしながら、上手な使い方を身に付けてほしいと思っています。

PTA総会・学年懇談会・部活動懇談会

4月27日（月）に行いました、

PTA総会には、約30名の保護者の方にご出席していただきました。

校長からの学校運営の話や、スポーツ振興課の大越様から地域スポーツクラブについての話、そして、議事として決算や予算の承認などがありました。議長をしてくださいました藤本様、ありがとうございました。



今回の総会で、令和8年度のPTA執行部として、会長に光正様、副会長に福本様、角様、女性代表に藏本様

が選出されました。また、各学年の理事の皆様を含め、この1年間お世話になります。そして、PTA活動をどうぞよろしくお願いします。



その後の学年懇談会では、各学年より、今年度の指導方針や、5月の学年行事についてなどの説明がありました。

部活動懇談会では、今年度の活動予定などの説明がありました。

いずれにしても、学校の諸活動は保護者の方々のご理解が必要です。もし、ご不明な点やご質問、ご意見がありましたら、遠慮なく学校へご連絡ください。そして、お互いにしっかり理解した上で、お子様の成長を支えていきたいと思えます。



健康管理

毎年年度初めには、様々な健康診断を行っています。今年度もこれまでに、全学年で歯科検診と眼科検診、1年生には心電図検診を行いました。さらに5月中に、内科検診と尿検査があります。

近日中に検査結果をお知らせしますので、気になる結果があった場合は、できるだけ早く病院へ行ってください。早めの対応が大切です。どうぞよろしくお願いします。

